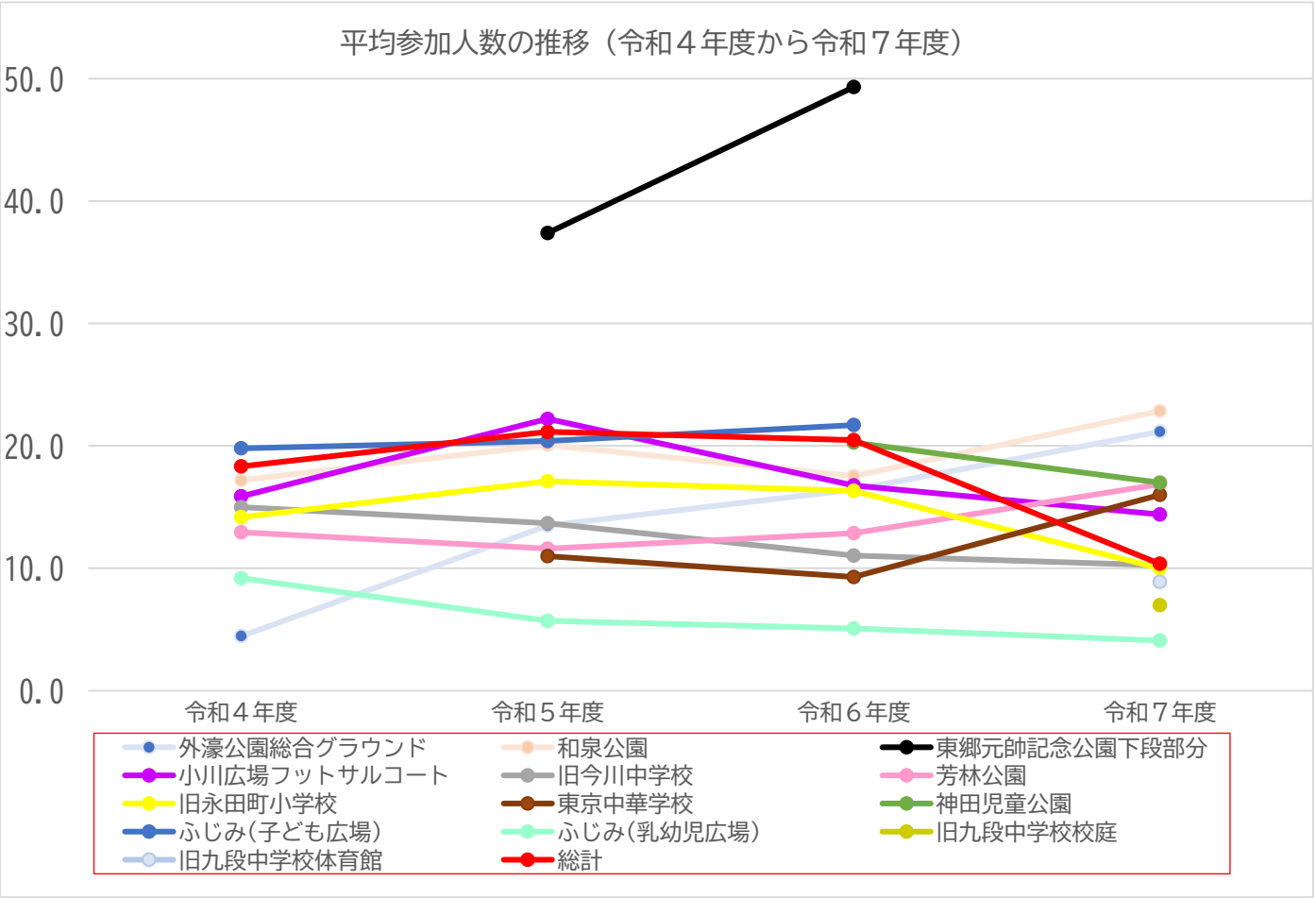


1 子どもの遊び場事業参加人数推移

利用人数については各年度実施回数を増やしていることから増加傾向にあるが、各遊び場の1回あたりの平均参加人数はおおむね横ばいであり、全体の平均参加人数は減少傾向にある。

	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度(6月末時点)		
	実施回数	利用人数	平均参加人数	実施回数	利用人数	平均参加人数	実施回数	利用人数	平均参加人数	実施回数	利用人数	平均参加人数
外濠公園総合グラウンド	15	67	4.5	31	418	13.5	33	542	16.4	6	127	21.2
和泉公園(平日)	43	642	14.9	42	824	19.6	41	647	15.8	12	278	23.2
和泉公園(土曜)	42	820	19.5	40	823	20.6	37	721	19.5	8	179	22.4
東郷元帥記念公園下段部分	—	—	—	26	972	37.4	29	1,430	49.3	—	—	—
小川広場フットサルコート	34	540	15.9	33	733	22.2	31	520	16.8	10	144	14.4
旧今川中学校	33	495	15.0	33	452	13.7	30	331	11.0	8	82	10.3
芳林公園	40	518	13.0	31	360	11.6	36	463	12.9	8	135	16.9
旧永田町小学校	45	638	14.2	35	599	17.1	36	588	16.3	8	80	10.0
東京中華学校	—	—	—	2	22	11.0	34	316	9.3	10	160	16.0
神田児童公園	—	—	—	—	—	—	22	446	20.3	4	68	17.0
ふじみこどもひろば(子ども広場)	115	2,282	19.8	115	2,350	20.4	116	2,518	21.7	—	—	—
ふじみこどもひろば(乳幼児広場)	115	1,054	9.2	115	655	5.7	116	589	5.1	29	121	4.2
旧九段中学校校庭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91	637	7.0
旧九段中学校体育館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91	809	8.9
総計	482	7,056	14.6	503	8,208	16.3	561	9,111	16.2	285	2,820	9.9

※『ふじみこどもひろば』および『旧九段中学校』においては、午前 10 時と午後 4 時 30 分時点の参加人数を合算して算出しています。



2 子どもの遊び場事業使用面積(令和 7 年度)

平均的な参加人数で遊び場が利用された場合、最小値である小川広場フットサルコートにおいて 1 人あたり約 33㎡の空間が確保されている。一方で、各遊び場における最大参加人数時でも、最小値である小川広場フットサルコートにおいて 1 人あたり約16㎡のスペースが確保されており、一定のゆとりが保たれている。

	令和7年度(6月末時点)			最大参加人数	令和7年度 使用面積	平均参加人数 一人あたりの面 積	最大参加人数 一人あたりの面積
	実施 回数	利用 人数	平均 参加人数				
外濠公園総合グラウンド	6	127	21.2	47.0	6100㎡	288㎡	130㎡
和泉公園	20	457	22.9	36.0	4610㎡	202㎡	128㎡
小川広場フットサルコート	10	144	14.4	29.0	470㎡	33㎡	16㎡
旧今川中学校	8	82	10.3	15.0	1900㎡	185㎡	127㎡
芳林公園	8	135	16.9	26.0	1950㎡	116㎡	75㎡
旧永田町小学校	8	80	10.0	15.0	1150㎡	115㎡	77㎡
東京中華学校	10	160	16.0	29.0	3729㎡	233㎡	129㎡
神田児童公園	4	68	17.0	29.0	950㎡	56㎡	33㎡
計	74	1,253	16.9	226.0	20859㎡	1232㎡	92㎡
ふじみこどもひろば	29	121	4.2	11.0	300㎡	72㎡	27㎡
旧九段中学校校庭	91	637	7.0	32.0	1240㎡	177㎡	39㎡
旧九段中学校体育館	91	809	8.9	25.0	450㎡	51㎡	18㎡
計	211	1,567	7.4	68.0	1990㎡	268㎡	29㎡
総計	285	2,820	9.9	294	22849㎡	2309㎡	78㎡

3 遊び場事業における必要面積について

(1) 旧九段中学校利用者へのアンケート結果について（回答数 73 人）

○体育館での必要面積

体育館で最大何人くらい遊べると思うかという質問に対して、20 人および 30 人程度に回答が集中している。回答結果を加重平均により分析すると、子どもたちにとって適正と考えられる人数は 26.5 人と推定される。この人数を体育館の面積で割り出すと、1 人あたり約 17 ㎡のスペースが確保されていれば、利用者の期待に応えられる活動環境であると考えられる。

2. 体育館（約450㎡）で最大何人くらい遊べると思いますが



## ○校庭での必要面積

校庭で最大何人くらい遊べると思うかという質問に対して、回答結果を加重平均により分析すると、子どもたちにとって適正と考えられる人数は 50.9 人と推定される。この人数を校庭の面積で割り出すと、1 人あたり約 24 m<sup>2</sup>のスペースが確保されていれば、利用者の期待に応えられる活動環境であると考えられる。

### 3. 校庭（約1,240m<sup>2</sup>）で最大何人くらい遊べと思いますか



## (2) 遊び場での必要面積

アンケート結果によると期待値としての遊び场面積は、体育館では、1 人あたり 17 m<sup>2</sup>、校庭では、1 人あたり 24 m<sup>2</sup>であった。これらをさらに、体育館と校庭の面積の比率を考慮して、加重平均により分析すると、期待値としての 1 人あたりの面積は約 22 m<sup>2</sup>となる。

また、小学校校庭面積基準では、子ども 1 人あたりに必要な面積は、約 10 m<sup>2</sup>以上であり、遊び場の面積としても安全面を考慮するとこれ以上は必要であると考えられる。

今年度における遊び場全体の最大参加人数は 294 人であり、これに対して 1 人あたりの面積の期待値 22 m<sup>2</sup>をかけた面積は 6,468 m<sup>2</sup>である。これが現時点における遊び場全体の必要最低面積と考えられる。

一方で、各遊び場の 1 回あたりの平均参加人数はおおむね横ばいであり、これまでの遊び場利用者からは、施設の広さに関する不満や苦情は寄せられていない。

## 4 今後の遊び場事業の維持目標について

遊び場の面積について、今回の旧九段中学校利用者アンケート結果から 1 人あたり約 22 m<sup>2</sup>との期待値が得られた。現状の遊び場の平均参加人数における 1 人あたりの面積は、各施設少なくとも 30 m<sup>2</sup>以上のスペースが確保され、この期待値に十分応えている。また、現状の遊び場全体の使用面積では、22,849 m<sup>2</sup>であり、期待値から算出した必要最低面積である 6,468 m<sup>2</sup>を大きく上回っている。

これらのことから現状の遊び場は十分な活動環境が提供され、利用者の期待に応えられる面積を有していると考えられる。

今後、現行の遊び場事業で活用している施設が建て替え等の理由により使用できなくなる場合には、必要面積を維持することを目標に、公園など他部署による類似事業の活用も視野に入れつつ、校庭など既存の区有施設等の有効活用を検討していく。

また、その際には、ニーズ調査等を通じて多様な子どもたちの声を丁寧に拾い上げ、その時代の要請や子どもたちのニーズに沿った柔軟な遊び場の確保を目指していく。

# <参考>

※子ども遊び場事業以外にも、常設の遊び場として『飯田橋三丁目広場』(約 770 m<sup>2</sup>)および、『東郷元帥記念公園(下段部)』(約 1,000 m<sup>2</sup>)がある。さらに、今後整備される『神田橋公園』では、約 600 m<sup>2</sup>のボール使用可の遊び場が新たに設けられる予定。

※子ども・子育て支援事業計画改正の際実施したアンケート結果(令和5年度)

充実してほしい子育て支援サービスについては、「公園や遊び場」が 65.0%と最も多く、次に「児童手当の支給、税金・教育費の軽減等の経済的援助」が 44.6%となっています。

